

共同実証実験の概要

1.実験目的

個人のキャリアアップとしてのRPA「WinActor®」のeラーニングの有効性、障がい者などの就労にかかる生産性向上ならびに就労条件の改善に資するかを検証しました。

2.実証実験期間

2019年8月1日(木)～2020年3月31日(火)

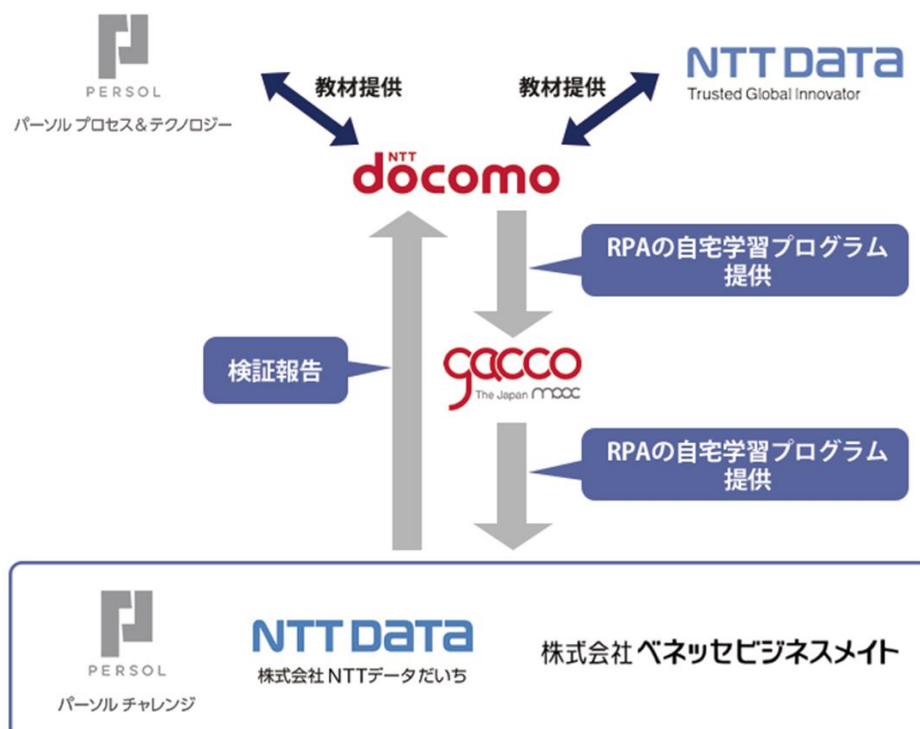
3.検証・分析項目

- (1)eラーニング受講前に実施する最適な受講者の選定方法
- (2)eラーニング受講前に開催する説明会における理解度・スキル習得に対する意向度
- (3)eラーニング受講後の理解度・スキル習得に対する意向度・スキルレベル
- (4)eラーニング受講後の就労条件の変化、向上度合い

4.検証方法

- ・アンケート
- ・インタビュー

5.各社の役割



6.実験結果

(1)習熟スキル

受講者が習熟した RPA 操作スキルを受講 30 日後と 60 日後で比較したところ、全項目において、スキル習得者数が増加しました。

・スキルの難易度

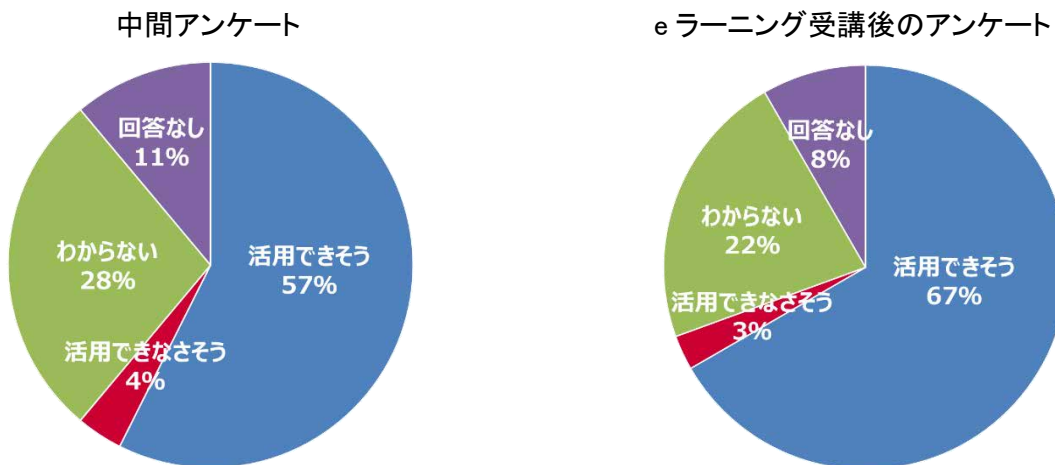
項番①～⑥…RPA の基本的な操作スキル

項番⑦～⑪…RPA の運用・メンテナンスが可能なスキル

	習熟した RPA 操作スキル	30 日後(名)	60 日後(名)	増減
①	自動記録(IE モード)を使って入力できる	45	46	+1 名 (+2%)
②	画像マッチングを使って入力できる	42	44	+2 名 (+5%)
③	自動記録と画像マッチングを状況に応じて使い分けできる	28	36	+8 名 (+29%)
④	Excel のデータを取得し、別のシステムに入力(転記)できる	32	36	+4 名 (+13%)
⑤	Excel のデータを繰り返しシステムに転記できる	23	31	+8 名 (+35%)
⑥	繰り返しを終了する条件を設定できる	21	33	+12 名 (+57%)
⑦	Excel のファイル名に今日の日付を付けて保存できる	17	25	+8 名 (+47%)
⑧	他のパソコンでも動作できるシナリオを作成できる	11	18	+7 名 (+64%)
⑨	エラーが起きたときにも対処できる	9	13	+4 名 (+44%)
⑩	ウィンドウ識別ルールについて理解できている	9	12	+3 名 (+33%)
⑪	シナリオにパスワードを付与する等のセキュリティ対策ができる	11	16	+5 名 (+45%)

(2)意向度

受講者にアンケートを実施。eラーニング受講中の中間アンケートに比べ、eラーニング受講後のアンケートでは「キャリアアップに活用できそう」という回答が10%増加しました。



7.実証レポート

共同実証実験の詳細は、以下のレポートをご参照ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/biz/binary/pdf/service/winactor/rpa_demo_experiment.pdf

*「WinActor」は、日本国内および海外の一部の国・地域におけるNTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。